

第二外国語中級における前後期の組合せについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年10月13日)

第二外国語中級の授業として〇〇語中級Ⅰと〇〇語中級Ⅱ(各2単位)が開講されており、また文系学部では要卒単位として中級8単位を取得することが標準的かと存じます。他方、原則的に、同一名の科目を重ねて履修し、要卒単位に算入することは許されていません。即ち、外国語中級においては、例外的に同一名の科目を重ねて履修し、要卒単位に算入することが許されているということです。

この例外について伺います。この例外は、〇〇語中級Ⅰ、〇〇語中級Ⅱの

- ①各4単位の要卒算入(二重算入)が許されている
 - ②計8単位の要卒算入(最大四重算入)が許されている
- のいずれと理解すればよろしいでしょうか。

私は、法学部・中国語選択の4回生ですので、上記について、下のAの場合のことを特に伺いますが、もし可能でしたら他の方のためにも、Bの場合についてもご回答いただけますと幸いです。

- A.平成31年度入学・法学部・中国語選択の場合
- B.各年度入学・各学部・各第二外国語選択の場合

どうぞよろしくお願いいたします。

【回答】(回答日:2022年10月17日)

(回答部署:国際高等教育院)

お問い合わせいただきました件について回答いたします。

全学共通科目の初修外国語については〇〇語ⅡA・〇〇語ⅡBという科目構成が基本となっております。

中級については、原則、複数履修することも可能ですので、詳細については以下のページを確認してください。

ご不明な点等ございましたら、回生・所属・履修履歴等によって異なりますので、全学共通科目学生窓口にお越しく下さい。

「全学共通科目履修の手引き」P.53⑤

<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/pdf/link/link0796.pdf?1663672015>